

**授業概要**

小学校教育における生活科の意義や創設の趣旨を理解し、生活科教育の理論や実践事例を通して、生活科の実践的な指導力が身につくように指導する。そのために具体的な指導方法や授業実践を紹介しながら、生活科の目標・学習内容・単元づくりについて講義し、実際に学習指導案作成・模擬授業を行っていく。

学習指導案の検討や模擬授業の授業活動では、学生の自己表現活動の力を引き出しつつ、他者への共感やコミュニケーション力を高めていく。また、生活科における情報機器の活用について理解し、ICTを活用した授業構成を理解したり必要な技能を高めてたりできるように指導する。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス（授業の目的と進め方、生活科の創設について知る）
第 2 回	生活科の教科目標、学年目標、体験活動
第 3 回	生活科の内容構成（3つの階層性と9つの内容について）
第 4 回	内容の取扱いについての配慮事項
第 5 回	接続期の教育（スタートカリキュラム）
第 6 回	生活科の単元構成と指導計画
第 7 回	ICTを活用した生活科の授業展開
第 8 回	子どもの表現と生活科の学習評価
第 9 回	授業構成と授業の実際（授業実践例を通して）
第 10 回	学習指導案の作成①（単元を決め学習指導案を作成する）
第 11 回	学習指導案の作成②（学習指導案を発表し合い、意見交換を通して学習指導案の検討をする）
第 12 回	模擬授業①（模擬授業を実施し、授業の流れや改善案を考える）
第 13 回	模擬授業②（模擬授業を通して学習評価のあり方考える）
第 14 回	模擬授業③（授業要素についての学びを深める）
第 15 回	講義のまとめ（児童成長と学びを導く生活科と教師の役割）
第 16 回	学期末試験（筆記試験）

**到達目標**

- ・小学校における生活科教育の意義、目標、指導内容についての理解を深める
- ・接続期教育を理解したり生活科の単元構成を考えたりしながら、具体的な授業イメージをももち、学習指導案を作成したり模擬授業を行ったりできる。
- ・生活科におけるICTを活用した授業のあり方について理解することができる。

**履修上の注意**

- ・講義を聞くだけでなく、実際の授業づくりの演習を取り入れた授業であるので、協働的に学ぶ姿勢を大切にすること。
- ・授業を欠席した場合は、その日の授業内容や課題の把握に努めること。

**予習・復習**

- ・シラバスを確認する以外にも、授業で次回の講義についての予告をするので、事前に必ずテキストをよく読み、講義内容が理解できるように予習しておくこと。
- ・復習として授業でとったノートを整理し、自分の言葉で学んだことをまとめておくこと。
- ・予習、復習共に必ず毎回30分以上の時間をかけること。（質問等あれば次回の授業で対応します）

**評価方法**

- ・受講態度や授業の振り返りコメント 20%
- ・学期末試験 60%
- ・課題レポート 20%

**テキスト**

- ・教科書名：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東洋館出版
- ・出版年（ISBN）：2018年（978-4-491-03464-5）